



株式会社Ubicomホールディングス
東証一部：3937

FY2018 Consolidated Business Results

2019年3月期 第2四半期
決算サマリー



営業利益および上期純利益が2倍を超える大幅な増益にて着地

売上高

1,694百万円

(前年同期比109.6%)

経常
利益

293百万円

(前年同期比187.1%)

営業
利益

284百万円

(前年同期比209.6%)

四半期
純利益

204百万円

(前年同期比214.0%)

【主な経営トピックス】

「自動化(Automation)/ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)」「ビッグデータと分析(Analytics)」「人工知能(AI)」等のコア技術を活かしたコアソリューションに経営資源を集中、利益率が大幅に改善。

■ セグメント別決算概況(売上高営業利益率が大幅改善)



グローバル事業			2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年 同期比
(単位：百万円)			金額	売上比率	金額	売上比率	
売	上	高	989	100.0%	1,082	100.0%	109.3%
営	業	利 益	136	13.8%	197	18.2%	144.7%

- ・ 製造業・医療分野におけるテスト自動化や分析、モバイル&クラウドソリューション、AIを用いた小売サービス業への売上拡大等、コアソリューションの他業種に渡る、「横串的」展開により増益
- ・ 人員R&D投資および経営陣増強等の戦略的投資をこなし、大幅な増益を達成

メディカル事業			2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年 同期比
(単位：百万円)			金額	売上比率	金額	売上比率	
売	上	高	567	100.0%	632	100.0%	111.5%
営	業	利 益	169	29.9%	234	37.1%	138.3%

- ・ Mighty CheckerおよびMighty QUBEの導入医療機関数が順調に伸長
- ・ 国立大学病院への導入拡大に代表される、既存のパッケージソフトの販売好調に加え、新規受託案件や分析事業が拡大、ストック型の高収益モデルにて大幅な増益を達成

2019年3月期 第2四半期(累計)連結業績を上方修正



(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前回発表予想(A)	1,693	170	183	99
今回発表実績(B)	1,694	284	293	204
増減額(B - A)	0	113	110	104
増減率(%)	+0.1	+66.6	+60.2	+104.5
前第2四半期実績	1,545	135	156	95

- グローバル事業において、「大手10社以上」の新規受注を獲得、また、テスト自動化や分析、AIを用いた、コアソリューションの拡大
- メディカル事業において、国立大学病院への導入拡大に代表される、既存のパッケージソフトの販売好調に加え、新規受託案件や分析事業が拡大、安定的な高収益モデルを確立
- 親会社株主に帰属する四半期純利益が2倍



9月 (株)Liquidとの資本業務提携

生体認証による本人認証・決済サービスを手掛ける株式会社Liquid(経済産業省/総務省:先進的IoTプロジェクト最優秀グランプリ企業)の高い技術開発力と商用化実績、そして当社が得意とする先進ソリューション及びラボ型オフショア開発、フィリピンにおける事業開発ノウハウを融合し、今後はソリューションプロバイダーとしてのアジア市場開拓、医療分野における新規ビジネス創出、生体認証技術市場における更なる事業ピラーの構築に向けて協業していくもの。



6月 ユニロボット(株)との資本業務提携

会話を通じてユーザーの個性や趣味嗜好を学習することを特徴に、人間の感情を認識するパートナーロボット「unibo(ユニボ)」の開発、パーソナルAIに関する研究開発を行うユニロボット株式会社と、当社が注力するメディカル領域およびサービス向けソリューションとの高い親和性や、先進技術の知見を活かした新規ビジネス創出など多大なメリットがあると考え、協業先への投資を介したWin-Winモデルの第一号案件として実施。

協業先とともに
成長拡大をめざす

成長期待企業様への
支援メニュー

- ・IT開発支援
- ・マーケティング支援
- ・資本提携

業務提携
資本提携
M&A

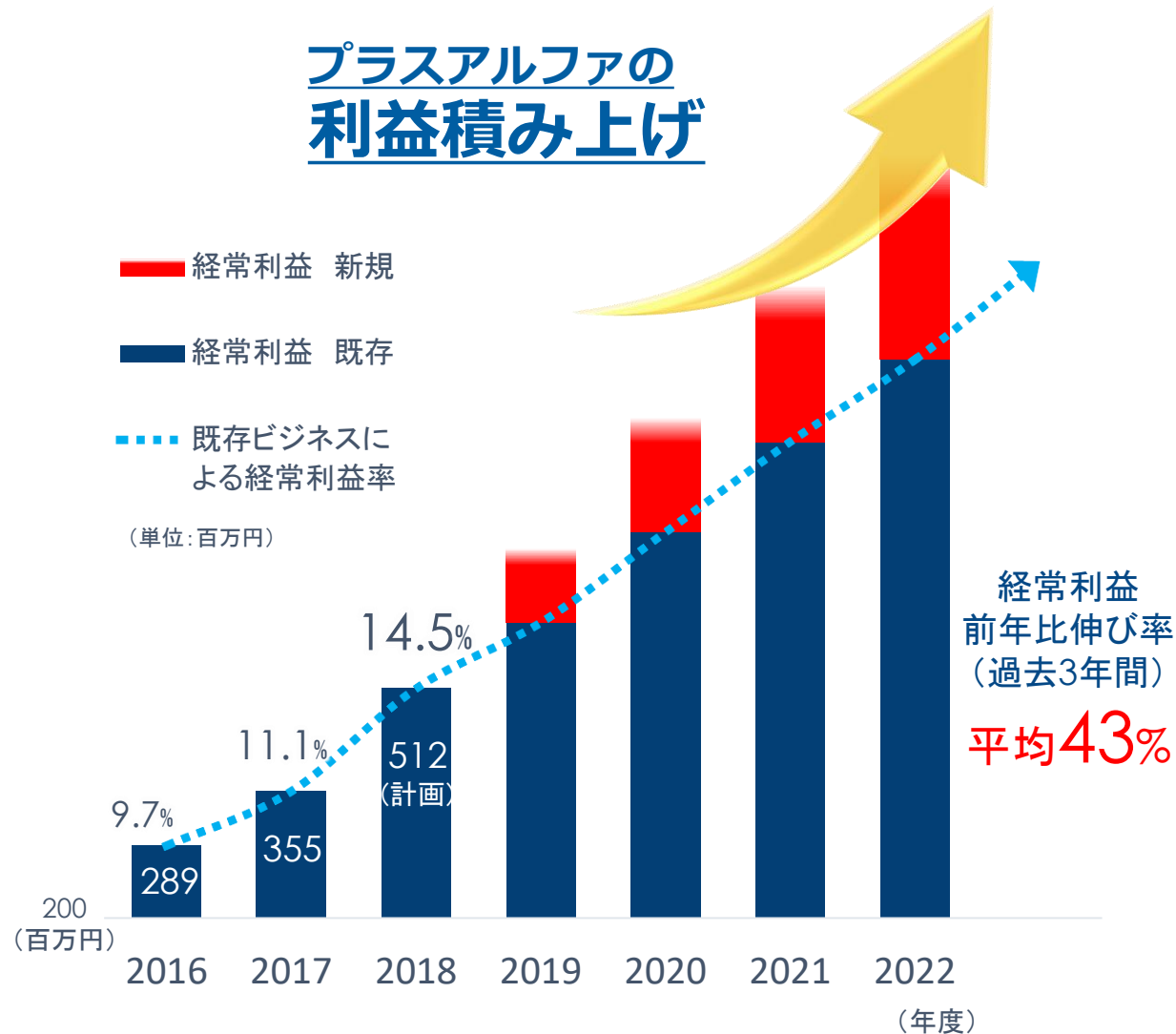


当社のメリット

- ・事業シナジー拡大
- ・新規マーケット参入
- ・収益機会の増加

Ubicomグループの
企業価値向上

プラスアルファの 利益積み上げ



Win-Winインベストメントモデル

業務提携、資本提携、M&A

新規事業

社会問題解決型ビジネス

国策に合致した 先進ソリューションの提供

- ・RPA含む3A戦略：Automation/RPA (自動化)
Analytics (分析)
AI (人工知能)
- ・戦略市場：自動車、金融、医療、大手メーカー
- ・グローバルエンジニアの育成活用

■ (累計)連結業績予想を上方修正(前年度比)

既存事業が堅調に推移、すべての利益が過去最高益を更新

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	3,621	454	480	281
今回発表予想(B)	3,525	490	512	328
増減額(B-A)	△95	36	31	46
増減率(%)	△2.6	+8.0	+6.6	+16.5
前期実績	3,208	322	355	212

- **経常利益**:前年度比35.1%増の計画をさらに上回る44.1%増に予想修正
- **当期純利益**:前年度比32.4%増の計画をさらに上回る54.3%増に予想修正
- 下半期の確度の高い案件のみを積み上げ

- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、当社による現時点における推定または見込みに基づいた将来展望についても言及しております。
- ◆ これら将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれ、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ◆ 本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、将来展望に関するいかなる記載も更新し、修正を行う義務を負うものではありません。



Ubicom
Holdings, Inc.

